

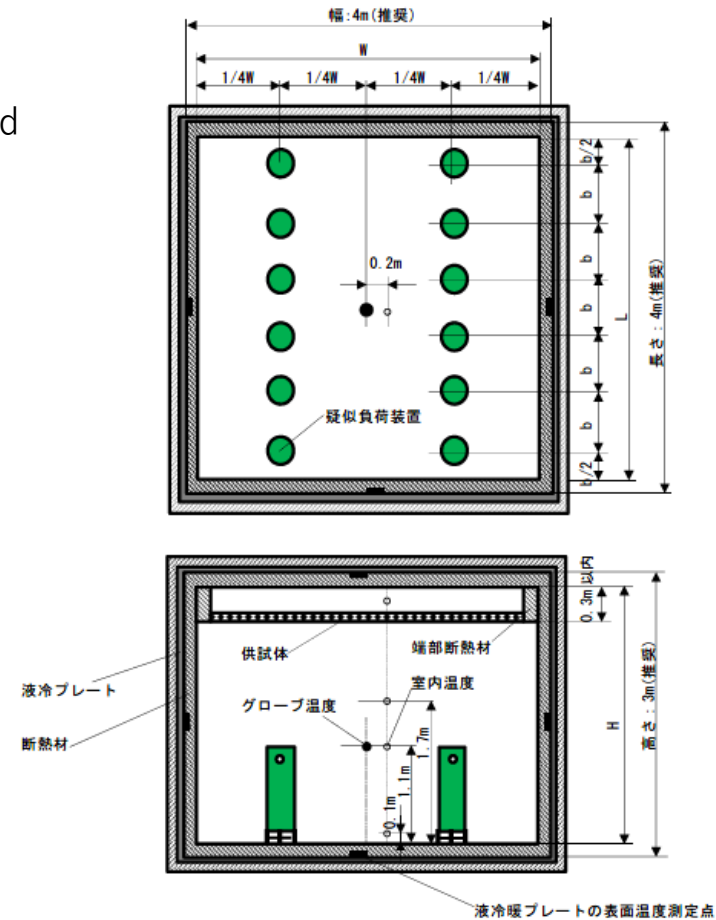
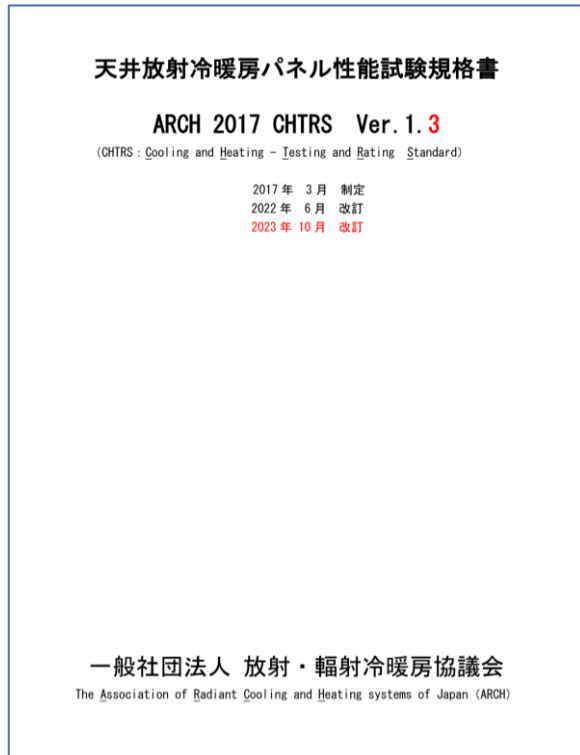
# ARCH規格の概要と 建築物ライフカーボン評価の取り組み

# ARCH規格の概要



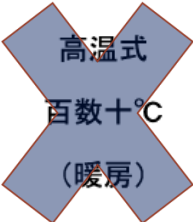



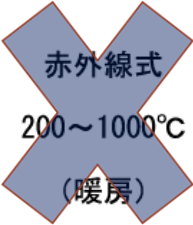

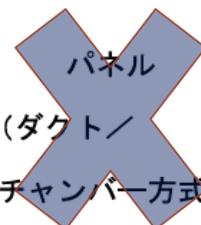
## 天井放射冷暖房パネル性能試験規格書

### ARCH 2017 CHTRS

(CHTRS : Cooling and Heating –Testing and Rating Standard



: 本規格書の対象システム

表面温度	放射面	熱媒	放射面構造	運転方法
<div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     低温式 15~45℃ (冷房/暖房)                 </div>	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">天井面</div>  床面	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">水</div>	 躯体埋込 (TABS※等)	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">放射面の 結露無し</div>
 高温式 百数十℃ (暖房)	 壁面	 空気	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     パネル 裏面断熱有、無 (配管方式)                 </div>	 放射面の 結露有り
 赤外線式 200~1000℃ (暖房)	 独立式		 パネル (ダクト/ チャンバー方式)	

※ TABS : Thermo Active Building System

図1 放射冷暖房システムの分類

# ARCH規格の概要

天井放射冷暖房パネル性能試験規格書

ARCH 2017 CHTRS

(CHTRS : Cooling and Heating –Testing and Rating Standard)

水式天井放射パネルの測定規格として2017年に制定  
(参考規格：EN 14240及びEN 14037-1～3)

2017年エネルギー消費性能計算プログラム（非住宅版）に天井放射冷暖房パネルと「ARCH 2017 CHTRSに基づき試験された定格能力を入力する」と記載された。

2022年Ver1.2にて主に試験室寸法についての追記や誤記訂正を行った。  
2023年Ver1.3にて試験室の維持管理に関する追記を行う。

一般社団法人

放射・輻射 冷暖房協議会

The Association of Radiant Cooling and Heating systems of Japan (ARCH)



# 建築物ライフカーボン評価の取り組み

昨今、カーボンニュートラルの実現に向けて、建築物のライフサイクルを通じたカーボン量の削減の取り組みが進んでいる。

ARCH技術部会では今期より、建築物ライフサイクルシステム算定ソフトのJ-CAT（（一財）住宅・建築SDGs推進センター）を用いて、協議会各社製放射パネルのエンボディドカーボン排出量の算出の取り組みを開始した。

将来的目標としては、

- ・ 放射空調システムのCO<sub>2</sub>排出量の協議会HP等での情報提供
- ・ CO<sub>2</sub>排出量に関し、従来空調との比較で放射空調の有利な点の検証

を念頭に引き続き取り組む。

一般社団法人

放射・輻射 冷暖房協議会

The Association of Radiant Cooling and Heating systems of Japan (ARCH)

